



第119回日本耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会

モーニングセミナー3

鼻疾患と睡眠

日時

2018年6月2日(土) 8:20～9:20

会場

第7会場 パシフィコ横浜 3階「303」

〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい1丁目1-1

司会

清水 猛史 先生

滋賀医科大学医学部 耳鼻咽喉科 教授

演者

太田 伸男 先生

東北医科薬科大学医学部 耳鼻咽喉科 教授

東北医科薬科大学医学部 耳鼻咽喉科 太田 伸男(おおた のぶお)

鼻疾患と睡眠



近年、アレルギー性鼻炎の有病率が上昇しているだけでなく、発症の低年齢化が指摘されている。国民の25%以上がスギ花粉症に罹患しており、特に若年層ではスギ花粉に対する抗体の保有率が50%を超え、その半数は実際に花粉症の症状を発症している。スギ花粉症などの花粉症では、花粉抗原が鼻腔内に吸入されるとくしゃみ、鼻漏、鼻閉などの症状が引き起こされるだけでなく、日常の学習や労働などの効率が障害されることが報告されている。また、睡眠は我々の健全な日常生活を営む上で重要な要素であり、質の良い睡眠は健康で高い活動性を維持する上で必要である。しかし、アレルギー性鼻炎の症状によって睡眠が障害され、患者のQOLや労働生産性が低下する可能性についてはまだ十分な検討がなされていない。これらの点を明らかにするために花粉症患者において、スギ花粉飛散数、鼻・眼症状、QOL、日常生活の支障度、睡眠障害についてそれぞれ検討を行った。また、小児においては睡眠障害が日常生活や学校生活の支障となるだけでなく、成長への影響も懸念されており、正確な病態の把握が重要である。睡眠を障害する因子としてアレルギー性鼻炎のどの症状が重要であるか、また、アレルギー性鼻炎によって生じる睡眠障害のマネジメントとその対応における注意点について我々の検討結果を含めて概説する。

略歴:1992年 山形大学医学部卒業

南陽市立病院、水戸済生会総合病院、山形県立総合病院 勤務

1996年 山形大学医学部 耳鼻咽喉科 助手

米国国立衛生研究所(NIH)留学

NEI Laboratory of Ocular Therapeutics客員研究員

2002年 山形大学医学部 耳鼻咽喉科 講師

2014年 山形大学医学部 耳鼻咽喉科 准教授

2015年 山形市立病院済生館 耳鼻いんこう科 科長

2016年 東北医科薬科大学病院 副病院長

東北医科薬科大学医学部 耳鼻咽喉科 主任教授